

奈 女性会員の活躍を紹介 伊 県シルバー人材センター「シルボン又交流大会」

伊奈町の埼玉県原民生活動センターで10月20日、県内のシルバー人材センターで働く職員や会員を対象とした「シルボン又交流大会」が開催されました。



発表の様子

シルボン又とは、「シルボン」と「又」を合わせた造語で、シルバー人材センターで働く女性の愛称です。

1部では、タレントで国際薬師の麻木久仁子さん(60歳)が、「60歳になって気づいたこと」と、今まで「人生観」として、女性部会の中心メンバー5人の「がママ」が主体的にイベントを開催するなど活躍しておられ、女性会員が年々増え、目標だった1000人の会員達成できた

報告がありました。

続いては、上尾市シルバー人材センターが「シルボン又」の居場所づくり「働くを楽しむの両立を目指そう」と題し、取り組んできたことを発表。同センターの職員が、入会促進のためには、職員や会員が全員女性で行う「女性のための入会説明会」や、会員や市民に仕事や趣味の話気軽に話せる場として「シルボン又サロン」を開設していることなどを報告しました。また、退会抑制については、退会理由に「やりたい仕事がない」といった声が多かったことから、就業先開拓に力を入れたと説明。市内の保育所に就業し、保育補助業務を受任することで、女性会員の活躍の場を拡大したと話しまし

た。また、女性部長会長の会員からは、「シルボン又サロン」について、デコパージュや絵手紙、アロマリラックスタイプな様々なイベントが好評だったことなどを紹介。女性部長の会員は、新入員の歓迎会を実施し、退会抑制のために効果があったことを話しました。

発表後、両会員は「シルボン又」の仕事について、週2回家事援助の仕事をしています。利用者「喜んでもらえることがやりがい」。「児童向け学習指導の仕事をしています。子どもたちから「1000点取れたよ」と報告されるとうれしい」と話し、笑顔を見せました。